

箴言21章(70人訳)

- 1 新改訳と同じ
- 2 誰でも自分の目には正しいと見える、しかし、主は心に教える
- 3 正しく行い、真理を語ることは、いけにえの血より神を喜ばせる
- 4 こころが高ぶるものは彼の傲慢の中でかたくなな心になる、そして邪悪なものの光は罪
- 5 新改訳(この節は70人訳には存在しない)
- 6 偽りの舌をもち財宝を集めるものは、空しいものを求めており、死のわなに入る。
- 7 破壊は不敬虔なものに座す、彼が正しいことを拒否したからである
- 8 曲がったものに対して神は曲がった道を送る、神の道は純粹で正しいものだからである
- 9 せつこうの部屋で不義な者と、開いた家に住むよりは、屋上の隅に住んだほうがよい
- 10 不敬虔なものの魂は、誰からもあわれまれない
- 11 不摂生なものが罰せられるとき、愚かなものが賢くなる、そして悟りのある賢いものは、知識をえる。
- 12 義なるものは、不敬虔なものの心を悟る、そして不敬虔なものの邪悪さのため、軽蔑する
- 13 貧しいものに耳を傾けることをやめるものは、彼自身が叫ぶようになっても誰も聞く人はいない
- 14 秘密の贈り物は怒りをなだめる、しかし、与えることをやめるものは強い怒りを引き起こす
- 15 正しいものにはさばきを行うことが喜び。しかし聖い人は悪を行う者には忌むべき存在
- 16 義の道から離れでてさまようものは、巨人の集まりで憩う
- 17 貧しいものは陽気を愛し、酒を愛し、たくさんの油を愛する
- 18 逆らうものは 義なるものには、忌むべきもの
- 19 口論好きで、おしゃべりで感情的な女と住むよりは、荒野に住んだほうがよい
- 20 望ましい財宝は、賢いものの唇にある、しかし愚かなものはそれを飲み干す
- 21 正しいものと哀れみの道は、命と栄光を見つける
- 22 賢いものは強い町を襲い、不敬虔なものが頼みとするとりでを破壊する
- 23 自分の口と舌を守るものは、自分の命を災いから守る

- 24 大胆で自己中心で無礼なものは、厄介者と呼ばれる、そして侮辱を思い出すものは反逆者と。
- 25 彼の手は何も行おうとしないので、欲望が怠け者を殺す
- 26 不敬虔なものは、邪悪な欲望を終日喜ぶ、しかし、義なるものはおおまかで慈悲深く同情的である
- 27 不敬虔なもののいけにえは主には忌むべきもの、彼らは邪悪に主にささげる
- 28 偽りの証人は滅びる、しかし従順なものは、注意深く話す
- 29 不敬虔なものは軽率に神に逆らう、しかし正しいものは自分自身で自分の道を悟る
- 30 不敬虔なものに対しては、知恵はなく、なぐさめはなく、助言はない
- 31 馬は戦いの日のために用意される、しかし助けは神から来る